

# 京都支部報

No. 1

1978.10.28

左京区吉田本町  
京都大学経済学  
部図書館室(土)

## 京都支部結成

1978年10月21日(土) 京都大学附属図書館会議室で「大学図書館員の集い」をもち、大学図書館問題研究会京都支部を結成しました。最初に講演会「図書館の自由について」(森耕一氏)をおこなひ、そのあと京都支部の結成をおこなひました。

講演会には会員20名、未会員11名、計31名の参加でおこなわれ、結成については、会員19名、未会員2名(入会予定)でおこなわれました。大学別にみると、京都大学、龍谷大学、立命館大学、京都教育大学、京都府立大学、同志社大学、京都工繊大学、造貨工大が参加しました。

結成式には、大学図書館問題研究会委員長の松田上雄氏(文教大)がかけつけ、あいさつと激励を受けました。又、北海道支部、東京支部、東大五からメッセージをいただきました。

京都支部結成で次の事が確認されました。①京都における会員は現在42名である。②支部の運営については、当面各大学から選ばれた若干名の世話人があたることになり、浅田(龍大) 井口(教育大) 沢田(立命) 沢居(京大) 帆足(同志社) 酒井(府立大) 平元(工繊大) 堤(全国委員・京大)が選ばれました。世話人会は大学図書館問題研究会第10回大会(1978年8月はじめ)前後に支部総会を開くことをめざして会則や方針作成など必要な準備をおこなひま

す。才1回のせわ人会は10月28日(土)立命館大学でひらかれます。当  
面の方針として、交流会の計画、支部機関誌の発行等について、  
議論される予定です。① 財政については、当面、支部還元金  
による事が決まりました。

事務局は、京都大学経済学部図書室(751-2111 内線3409 堤、  
又は3412 沢居)におかれます。

## メッセージ

△大学図書館問題研究会 京都支部結成おめでとうございます。今後の  
活躍を期待しております。(1978年10月21日 北海道支部)

△京都支部結成おめでとうございます。

周知のごとく円高不況を背景に政府の反動化と一部中道政党的の右傾化  
が強まり、戦前の大政翼賛会を想わせる行動で、支持を失いつつある  
政府の補強の役割をはたそうとしております。経済的には不況打  
開策として単産協同による單産産業の充実に全力をこめております。有  
事立法の内容は運搬手段、諸施設の用のみでなく、言論統制をも含ん  
でおり極めて重大な意味をもっています。

東京支部では、東京セミナー、利用条件調査、地域研究グループ活  
動などを中心とした活動を続けております。セミナーでは、42巻、出版、  
流通問題、大学改善要項改訂問題、国公立大管理運営問題、小図書館  
(室)の課題、オリエンテーションなど、今年「自由宣言」(副文  
案)、図書館員の倫理綱領をとり上げました。10月9日には図問研  
東京支部と合同で「宣言」について学習会をもちました。事情の許す  
かぎり、図問研とは今後も共通のテーマについては協同し、友好、連携

を深めたいと考えています。しかし東京支部にも多くの課題をかかえてあります。例えば、東京の他に神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木に会費が倍り、組織化の糸口をつかみかかっていることです。新たな支部系結成を考える時期と考え、検討を始める予定になっています。

いずれにせよ、大学および図書館の民主化を推進し、学生、院生、教職員に奉仕する図書館を建設する上で大図研のはたす役割は重大な意味をもちます。

北海道、大阪について、京都に支部が結成されたことにより大学の集中している大都市に支部をもつことになり、その意義ははかりきれないと思います。わたくしたち東京支部会員一同心強く感じていると同時に心より御祝い申し上げます。合せて貴支部の活躍と発展を祈ります。共におんばりましょう。(1978年10月21日 東京支部)

△京都支部の結成を心からお祝いして連帯のあいさつを東大班からお送りします。

京都には大学民主化のホープともいえる大学、長い歴史に培われた豊富な人材をもつ大学、新しい技術を敏速に応用して図書館活動を逞めた大学、大学図書館における研究活動を先導的に担ってきた図書館員のグループ等多くの基盤があり、大図研活動の西日本における牽引車になりうるものと大図研の結成以来見做されてきました。

しかしながら現実にはそうした土壌が逆に作用したのでしょうか、「いままら大図研活動でもあるまい」といった零細気が生じ、今日までそうしたものを十分に乗り越えることができなかったことは、発展しようとしていた大図研の活動にとって大きな足枷となっていたといえるでしょう。

それが6月の大阪支部の結成につぎ、今回の京都支部の結成、さらには伝えられてくる兵庫地区での活動の高揚など、この足枷は急速に消

減し、いまや大図研の新たな拠点として確実なものとなりつつあることは非常に喜ばしいことと思われま。

ここに東大班での活動の一端をお伝えして、今後の支部活動の参考に供するとともに、交流を深めてゆきたいと考えております。

東大班の活動は大きく分けて2つのものがあります。1つは、毎月定期的に開かれる例会です。ここでは全国委、常任委、東京支部の報告を受け、東大班としての意向をまとめるとともに、班活動の基本方針、経過等を検討し具体化を進めるほか、図書館に関する各種の情報を交換して大図研活動と日常の図書館活動とのつながりを大切にしてまいります。2つ目は調査グループの活動です。現在配転問題、業者委託、利用条件の3つのグループを作り全国レベルでの活動方針を基礎としてその活動に資するデータを収集するとともに、その中から東大独自の課題を見出すべく活動してまいります。以上概略しました活動の基本理念として (1)班活動は支部活動、全国レベルでの活動を支えるものである (2)班、支部、全国レベルの活動は現場の図書館から分離したものであってはならない (3)結集した会員の個々の最大限の力と条件を活動に反映する (4)東大班として独自の課題をもつこと等をもってまいります。

貴支部における活動が支部に結集する大学および会員諸兄弟の豊富な経験と能力を最大限に有効化し大図研活動の中心部隊となることをねがうとともに、東大班へもその成果をもたせていただければ願って結成大会へのあいさつとさせていただきます。

(1978年10月21日 東大班)